

科目名	人間工学／人間工学1	単位数	2単位	学期	前期				
担当教員	上西園 武良		実務経験の有無		○				
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー						
ナンバリング	X-32-B-2-430018	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること							
授業の目的	<p>人間工学では、人間の使用する機器が使用しやすいものになることを目指している。本講義では、人間の特性を心身機能別に分類し、それぞれの機能に適合した機器の設計手法を習得する。情報の観点からは、機器使用に関わる人間の特性情報をどのように設計情報に翻訳するかを習得する。同時に、設計時に必要となる統計的なデータ処理手法も合わせて修得する。</p> <p>【対応するディプロマポリシー】仕事の仕組みをシステム的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。</p>								
学修到達目標	人間の心身機能に適合した機器・環境の設計が行える。								
実務経験との関連性	大学赴任前の企業にて、人間工学を活用した製品企画・開発（家庭用の機器）に約10年間従事していた。講義内容の大半は、この実務経験を活用した、実践的な内容となっている。								

授業計画	
第1回	人間工学の歴史、人間の特性の分類
第2回	寸法・体格の特性への適合設計(1)イスの座面幅の事例
第3回	寸法・体格の特性への適合設計(2)棚の高さの事例

第4回	寸法・体格の特性への適合設計(3) 小テスト
第5回	感覚特性への適合設計(1)2点法と2項検定
第6回	感覚特性への適合設計(2)評点法とt検定
第7回	統計学的な補足
第8回	感覚特性への適合設計(3) 小テスト
第9回	感覚特性への適合設計(4)針の見易さの事例、洗浄強さの事例①
第10回	感覚特性への適合設計(5)洗浄強さの事例②
第11回	感覚特性への適合設計(6)洗浄強さの事例③
第12回	運動特性への適合設計
第13回	感覚特性・運動特性への適合設計、小テスト

第14回	認知特性への適合設計
第15回	まとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。前年度資料にて該当部分を予習。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料にて復習。特に計算問題は独力で行えるようにしっかり復習する。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト3回（各10点、計30点）と期末試験（70点）の合計（100点）で評価する。 ・ 授業の2/3以上に出席していることを期末試験の受験資格とする。 ・ 期末試験は「電卓（通信機能なし）」以外は持ち込み不可（小テストは持ち込み可）。
フィードバック方法	小テストは採点して、解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	x
実施内容	

教科書/参考書	特に使用しない
受講上の留意点等	毎回、数値計算を行うので平方根（√）計算機能のある電卓を持参すること。
JABEE	